



平成 26 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 松下 功夫  
 コード番号 5 0 2 0 東証・名証第 1 部  
 問合せ先 財務 I R 部 I R グループ マネージャー  
 鈴木 隆次  
 (電話番号 03-6275-5009)

**平成 27 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異  
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

平成 26 年 7 月 31 日に公表した平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、平成 26 年 7 月 31 日に公表した平成 27 年 3 月期通期連結業績予想についても、修正しましたのでお知らせいたします。

記

**1. 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異  
 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)**

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 26 年 7 月 31 日発表)	5,700,000	10,000	45,000	30,000	12 円 7 銭
実 績 ( B )	5,442,426	14,266	41,990	17,659	7 円 10 銭
増 減 額 ( B - A )	△257,574	4,266	△3,010	△12,341	△4 円 97 銭
増 減 率	△4.5%	42.7%	△6.7%	△41.1%	△41.2%
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	5,777,689	139,429	176,115	89,706	36 円 8 銭

**2. 平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)**

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 26 年 7 月 31 日発表)	12,050,000	175,000	245,000	120,000	48 円 26 銭
今回修正予想(B)	11,720,000	105,000	180,000	70,000	28 円 15 銭
増 減 額 ( B - A )	△330,000	△70,000	△65,000	△50,000	△20 円 11 銭
増 減 率	△2.7%	△40.0%	△26.5%	△41.7%	△41.7%
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	12,412,013	213,657	302,329	107,042	43 円 5 銭

### 3. 第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想修正の理由

#### (第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異の理由)

第2四半期連結累計期間においては、原油価格の下落、石油製品の販売数量減等により、売上高は前回予想（平成26年7月31日発表）を下回る結果となりました。営業利益につきましては、原油価格の下落に伴う在庫影響の悪化はあるものの、経費の減少などにより予想を上回る結果となりました。また、経常利益・四半期純利益につきましては、為替の円安進行による外貨建債務の評価損の発生や、投資有価証券の評価損・構造改革費用等の特別損失の発生などにより、予想を下回る結果となりました。

在庫影響を除いた経常利益相当額は、前回予想比66億円増益の716億円となりました。

[在庫影響(※)](第2四半期連結累計期間) (単位:億円)

	前回発表予想 (A)	実績 (B)	増減額 (B-A)
在庫影響	△200	△296	△96
在庫影響を除いた 営業利益相当額	300	439	139
在庫影響を除いた 経常利益相当額	650	716	66

※総平均法によるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響

#### (通期連結業績予想修正の理由)

売上高は、原油価格の下落、石油製品の販売数量減が見込まれることなどから、対前回予想（平成26年7月31日発表）比2.7%減の11兆7,200億円となる見通しです。

原油価格の下落に伴う在庫影響の悪化等により、営業利益は対前回予想比700億円減益の1,050億円、経常利益は対前回予想比650億円減益の1,800億円となる見込みです。

なお、在庫影響を除いた経常利益相当額は、原油価格の下落に伴う石油・天然ガス開発事業の減益などにより、対前回予想比200億円減益の2,500億円となる見通しです。

[在庫影響(※)](通期) (単位:億円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
在庫影響	△250	△700	△450
在庫影響を除いた 営業利益相当額	2,000	1,750	△250
在庫影響を除いた 経常利益相当額	2,700	2,500	△200

※総平均法によるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響

本見通しは、通期平均で原油価格（ドバイ原油）；バーレル当たり99ドル(下期95ドル)、銅の国際価格（LME価格）；ポンド当たり316セント(下期320セント)、円の対米ドル相場；104円（下期105円）を前提としております。(前回予想:原油価格；バーレル当たり105ドル、銅の国際価格；

ポンド当たり 317 セント、円の対米ドル相場 ; 101 円)

(注) 本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、(1) マクロ経済の状況又はエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化、(2) 法律の改正や規制の強化、(3) 訴訟等のリスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以 上